

レポートの書き方②

レポート作成の実際

聖隷クリストファー大学学習支援室 20200722miyamae

参考文献：

世界思想社編集部（2018）「大学生学びのハンドブック.4訂版」世界思想社

レポート作成の手順

- レポート課題が出されたら、**次のような手順**を進める
- 本を読んで書く内容を固めるだけでも時間がかかるので**早めに取り掛かる**手順

- ①何を取り上げるかを決める
- ②本を読んで情報を集める
- ③疑問や発見から「問い」をたてる
- ④「問い」の答えとなる「主張」を予想する
- ⑤「主張」を裏付ける「根拠」を集め、主張を決定する
- ⑥レポートの構成を考える
- ⑦執筆・推敲（文章を吟味して練り上げる）
- ⑧提出前の確認

レポートを書いてみよう

①何を取り上げるかを定める

先生からの課題 例：

今学期の授業で扱った内容のうち、興味を持ったテーマを一つ取り上げ、現状と今後の課題について論じなさい

➡ 与えられた課題ではどのテーマを題材にするかが決められていないので、情報を集める前に、「何について書くのか」 方向性を定める

●まめ子さん

授業を振り返る

周りを見回す ➡ 「子ども食堂」について取り上げることに

②本などから情報を集める

- 教科書的な本数冊、単行本から探し読みをし、このテーマがどのように扱われているか調べ、概要をつかむ
- 福祉分野の専門雑誌に目を通し、関連する文献を読む

③疑問や発見から「問い」をたてる

疑問に思ったことや発見したことをメモしながら読み、そこから
自分なりの「問い」（問題意識）を設定する。それがレポートの核。

問の例：

日本には子ども食堂はどのくらいあるのか？

都道府県別食堂数、利用者数は？

どのような経緯で子ども食堂は始まり発展してきたのか？

子ども食堂利用者は満足しているか？

子ども食堂の運営主体と経済的基盤は何か？

★子ども食堂の開催回数や参加者数はどのくらいか？

➡ まめ子さんは これをテーマにした

④ 「問い」の答えとなる「主張」を予想する

問いをたてたらその答えを考える。その答えが「主張」となる。
最初は漠然としたものでよい。

主張の予想 「市町村により大きな差があり、十分にサービスが行き渡っている市町村とほぼサービスがない市町村があるので格差をなくすべきだ」

⑤ 「主張」を裏付ける「根拠」を集め、主張を決定する

教科書、単行本、統計資料、報告書、文献などに当たって根拠を集めながら、**漠然とした主張をはっきりした主張にしてゆく。**

⑥ レポートの構成を考える

「問い」から「主張（結論）」を導き出せたら、「根拠」とあわせて、「序論、本論、結論」の3部構成で組み立てる。

(例)

序論 問い：子ども食堂の開催回数や参加者数はどのくらいか？

主張：「子ども食堂の数は市町村により大きな差があり、十分にサービスが行き渡っている市町村とほぼサービスがない市町村があるので格差をなくすべきだ」

本論：

- 1.子ども食堂とは何か
- 2.子ども食堂の数、都道府県別、市町村別
- 3.子ども食堂利用者数と利用者数予測

結論：子ども食堂は人口比で大きな差がある。利用者数予測と実際の利用者数を比べると地域格差が大きい。格差解消を目指すべきである。

文献リスト：レポートの書き方 ① 参照

⑦ 執筆・推敲する

分量や書式など、課題の指定を満たすように書き上げる。
書いたら自分で読み返したり、（先生や）友達に読んでもらったりして、わかりにくいところやおかしいところを直す

⑧ 提出前の確認

ページ番号を振ったり、名前や学籍番号を書いたかどうかなど、細かいところをもう一度確認する
文献リストの細部も確認

参考文献

世界思想社編集部（2018）「大学生学びのハンドブック4訂版」世界思想社